

◎特集◎

2025 年度定期総会を開催
高齢者生き生き交流大会、初の試み
議長、知事が相次いで浙江省訪問

- ★上海今昔物語 — 石川裕介所長
- ★中国豆情報 低空+ スタバ指数
- ★喫茶中国の現代事情 VOL.1
- ★中国の数学王 蘇歩青の足跡

邂逅 京杭大運河 —北京・澄清上閘門—



世界遺産に登録され、世界最長の運河である「京杭大運河」は、北京を起点に北京から天津、河北、山東、江蘇、浙江を通して終点・杭州までを結ぶ約 1800 kmの大運河です。歴代の食糧輸送水路として、水運、灌漑、洪水排出の機能的価値が高く、中国南北の経済・文化交流に大きな役割を果たしてきました。北端は北京紫禁城・城北の「万寧橋」を起点に、澄清上閘門から通惠河を通り、東部の天津とつながり、紫禁城を作るための石材・木材をはじめ、日頃は運河界隈の日常生活物資が運ばれていました。



去る5月15日、ホテルアソシア静岡において、当協議会の2025年度定期総会が開催されました。冒頭で会長挨拶、来賓祝辞をいただきました。総会では、昨年度の事業報告と収支報告を承認、併せて本年度の事業計画と収支予算を決定しました。



★ 会長：鈴木康友 静岡県知事 挨拶要旨 ★

静岡県と浙江省の交流は1982年に始まり、40年以上にわたって続いています。経済や文化など様々な分野での交流が広がり、コロナ禍を経て対面での訪問が再開されました。

静岡県側は浙江省への訪問を重ね、浜松市も杭州市と友好交流協定を結ぶなど関係を深めています。これまでの交流に御尽力いただきました皆様に改めて感謝いたします。

今年6月には静岡県から浙江省を訪問し、省の幹部との面会や大学間協定の覚書締結、先端企業の視察などを予定しています。また、7月には万博・中国館で行われる「浙江ウィーク」に合わせて来日される浙江省の訪問団が静岡県も訪れると伺っております。

国際情勢が不安定な中、この歴史ある交流を後世へと引き継ぐことが重要であり、2027年の45周年に向けて取り組みを進めていく考えです。今後も理解と支援をお願いしたいと思っております。



★ 来賓：落合慎悟 静岡県議会議員 祝辞要旨 ★

協議会会員の皆さまにおかれましては、静岡県と浙江省は長年にわたり友好関係を築き、幅広い分野で活発な交流を続けてきました。特に、日中友好関係の発展に貢献してきた協議会の皆様に深い敬意と感謝を申し上げます。

先月4月に、県議会の友好交流団が7年ぶりに浙江省を訪問し、自動車・航空産業、医療・福祉、文化・文化財保存など多岐にわたる分野を視察しました。特に、人が乗車するドローンによる低空バス運行を計画しているスタートアップ企業を訪問し、国の許可が下りるまでヘリコプターで実証運行を行っている様子を確認しました。300メートル級の高層ビルまでヘリコプターに乗せてもらう体験もあり、最新技術を肌で感じることができました。また、街を行き交う自動車の多くが電気自動車に変わるなど、中国の急速な経済成長を目の当たりにしました。杭州市では温かい歓待を受け、地域との結びつきをさらに深める貴重な機会となりました。

県議会も様々な機会を通じて、国際社会の安定と発展のため、実際に訪問し交流を続けることは欠かせません。今後も友好関係を強化し、日中両国の信頼を深める取り組みを続けてまいります。



静岡県・浙江省木製玩具を使ってオンライン競技

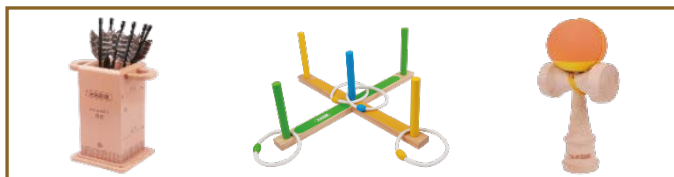
高齢者生き生き交流大会、初の試み

5月19日、静岡市駿河区の高齢者施設まごころタウン静岡で、「高齢者生き生きライフサポートコンソーシアム」主催の「静岡県・浙江省高齢者生き生き交流大会」が開かれました。浙江省の高齢者施設とオンラインで繋ぎ、浙江省で製造した木製玩具を使って競技しました。静岡県からは、まごころタウン静岡と駿府葵会久能の里の施設利用者、浙江省からは麗水市雲和県にある施設利用者が参加し、競技に盛り上がりました。



競技種目

坪投げ:60秒以内に10本の矢を投げ、成功数を競う
輪投げ:60秒以内に10本の輪を投げ、成功数を競う
けん玉:60秒以内の玉乗せの回数を競う



＜木製玩具＞浙江省麗水市雲和県は「木製玩具の里」と称されるほど、木製玩具の製造が盛んな街。今回の玩具提供企業、米米玩具集団は、中国でも有名な企業で高齢者向けの知育玩具の製造に力を入れています。

＜オンラインで楽しむ＞

今回の大会は静岡県と浙江省の高齢者同士がオンラインで競技するという初めての試みでした。競技開催にあたり、県健康福祉部企画政策課・中川綾子課長が「静岡県の「健康寿命」は男女ともに日本一、それは穏やかな県民性や、地元の食材を生かした豊かな食生活などにあると言われており、家族や友人と一緒に、笑って楽しく過ごすことも健康への効果が大きい。今回の競技や交流を大いに楽しんでほしい」と挨拶、麗水市雲和県人民政府・趙建勇副県長は「木のおもちゃを通じて海を越えた2つの地域が繋がった、リラックスして交流の場を楽しんでほしい」と期待を寄せ、日中それぞれの選手代表によって競技への意気込みが述べられた後、競技が始まりました。

静岡県側と浙江省側からそれぞれ選手18名が参加し、個人戦、団体戦が行われました。壺投げ、輪投げは1.5m離れたところから投げ入れるルールで、なかなか入らず、うまく投げ入れられると拍手と歓声が起こっていました。浙江省選手の競技状況もスクリーンに映し出され、年齢層は静岡県選手より若く、力強く矢を投げる様子やけん玉の上手な手さばきの様子なども見る事ができました。オンラインという形でも両県省がつながり、同じ競技を楽しめるという有意義な交流の機会となりました。

※高齢者生き生きライフサポートコンソーシアム※

静岡大学、インフィック(株)、(福)駿府葵会及び本協議会の四者により2024年に設立した浙江省をはじめ中国との間の高齢者介護ビジネスを推進する本県側の交流プラットフォームです。

県議会議長、県知事が相次いで浙江省訪問

双方のトップ会談により、友好関係を深める

静岡県議会議長を団長とする議会代表団が浙江省訪問を再開し、静岡県知事が知事就任後、初めて浙江省を訪問し、議会レベルで、また行政レベルで両県省の友好関係を深めました。

★静岡県議会議長を団長とする議会代表団、浙江省訪問を再開

2018年以來7年ぶりの訪問となる、静岡県議会による浙江省友好交流団（団長：落合慎悟議長）が、2025年4月16日から18日までの日程で浙江省を訪問しました。交流団は浙江省人民代表大会を表敬し、経済・農業・医療・人材育成の分野で更なる交流・協力を進めていくことを確認しました。また、滞在中、一行は、杭州市のEV車開発企業や中医薬文化デジタル健康生活館、杭州国家版本館などを視察したほか、杭州近郊で低空移動手段として既に実用化されている低空バスの運行状況についても理解を深めました。



★静岡県知事が知事就任後、浙江省を初訪問

2025年6月2日から5日まで、鈴木康友知事が知事就任後、初めて中国（上海市と浙江省）を訪問し、浙江省の王浩党委書記とトップ会談を行いました。席上、鈴木県知事は、デジタル経済や機械製造、医薬・医療、スタートアップ企業間の協力を強化したいと提案し、王浩書記も人口知能(AI)やグリーン開発分野での協力を推進したいとの意向を示し、更に双方は2027年に迎える友好提携45周年に向けて、行政・経済・教育分野で更なる協力をすることを確認しました。また、鈴木県知事は静岡県・静岡大学・静岡県立大学・浙江大学の4者で「大学発スタートアップ交流、育成等に係る協力に関する覚書」に調印し、今後、両県省で技術研究開発や若い起業家の育成を促進していくことを確認しました。上海市では、中国東方航空本社を訪れ、静岡空港の上海線増便の働きかけを行いました。



駐在員レポート

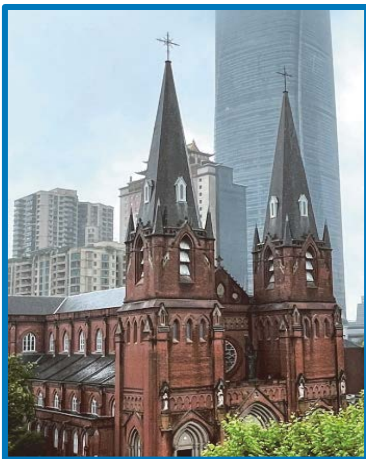
上海今昔物語

国際都市・上海には歴史ある地域・建造物が数多くあります。それらの建造物が、今に残り、現代の人々の暮らしに利用されている様子を駐在レポートします。

20 世紀初頭、上海は「東洋のパリ」と呼ばれ目覚ましい発展を遂げました。現在も、街の至る所に重厚感ある建物が溶け込み、当時の面影を残しています。今日は地下鉄1、9、11 号線が交わる市内交通の要所で、ポップカルチャーの集積地としても人気の街、徐家匯(じょかかい)を訪れました。



静岡県上海事務所
石川祐介所長

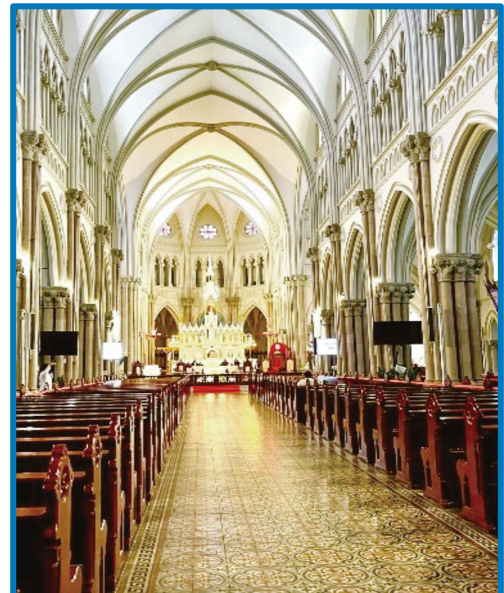


◇上海の国際化を牽引した「徐家匯」

徐家匯は、直訳すると「徐さんと家族が集まる場所」という意味で、その名前は 16 世紀末の明代の高官「徐光啓(じょ こうけい)」に由来します。自然科学者・天文学者でもあった徐氏は、宣教師との交流を通じて海外情勢を学ぶとともに自身もキリスト教に改宗、故郷の上海で宣教師の活動を支えました。こうして生まれたキリスト教のコミュニティは、文化・経済の両面から上海の国際化に大きな影響を及ぼしていきます。

◇東洋随一の教会と称えられた「徐家匯天主教堂」

20 世紀初頭、このコミュニティの中核として賑わい、その歴史を今に伝えているのが「徐家匯天主教堂」です。フランスのノートルダム寺院、ドイツのケルン大聖堂と同じ「ゴシック様式」で、尖った上部と天井空間の広がり特徴的な建物は、1910 年の完成当初は「上海の最も高い建造物」であり、「東洋随一の教会」とも称えられました。その後、ステンドグラスや尖塔が壊され、企業の倉庫として利用された時期もありましたが、1979 年からの全面修復で美しい姿を取り戻しています。



◇独自の進化を遂げる地域の「癒しの場」

現在の徐家匯は、2 次元などポップカルチャーが集まる「美羅城」やパソコン関連ショップが軒を連ね、週末には多くのコスプレイヤーが集う若者の街として、独自の進化を遂げています。それでも、裏路地を歩くと「中国で現存する最も美しい教会の 1 つ」と評されるレンガ造りの建物は静かに佇み、隣接する公園の緑や徐家匯書院(図書館)とともに、近隣住民に豊かな癒しの時間を提供しています。

中国豆情報

トレンド：“低空+（プラス）”

杭州市では「低空+」モデルを推進、低空と様々なシーンを融合させた低空とプラスアルファのスローガンの下、低空経済の発展を図っています。

● 低空+ 物流

ランチやドリンク等のドローンのデリバリーサービスはもちろん、血液緊急輸送ドローンを既に常態化させています。

● 低空+ 治理（地域の整備、安全）

都市の治安維持や緊急援助、森林火災防止等、ドローンにより監視しています。

● 低空+ 文旅（レジャー）

銭塘江上をフライトしてアジアオリンピックスタジアムや西湖の夜景を空から楽しむコース等、新しい空のレジャーを提供しています。

● 低空+ 客運探索（旅客輸送）

長江デルタ地域に勤める人たちの通勤手段等、都市交通機関の一つとなっています。低空バスが次々と開通、空を利用した交通がどんどん便利になっています。



購買力平価：スタバラテ指数

米国、日本、中国で販売されている世界的なコーヒーチェーンであるスターバックスコーヒーの価格を購買力平価で比較すると、通貨の過大評価・過小評価や経済水準の違いを考察できます。コーヒー片手に、世界の経済を覗いてみるのも楽しくなるかも。

通貨の購買力平価で比較

(1 ドル=150 円換算 1 ドル=7.15 元換算 1 元=20 円換算)

日本(500 円) vs 米国(675 円)

円建てで見ると、日本のスターバックスは米国より約 26%安いですが、現在の円安を反映している可能性があります。円の購買力がドルに対して過小評価されていると解釈できます。

	現地価格	比較通貨別の価格
米国	4.50\$	(JPY675 円 RMB32 元)
日本	500 円	(USD 3.33 ドル RMB25 元)
中国	30 元	(USD 4.19 ドル JPY600 円)



中国(600 円) vs 日本(500 円)

中国の都市部ではスターバックス価格が日本より高いですが、平均所得は日本より低く、人民元の購買力平価よりも、スターバックス価格が高めに設定されている可能性があります。



中国はお茶発祥の地で、飲茶の歴史は非常に長く、種類も多く、飲み物として楽しんだり、薬のように健康のために飲んだり、年齢、性別、地域に関わらず昔から中国人の生活に不可欠な存在として親しまれています。

トレンド「新中式茶飲」

新しいタイプのドリンク、**新中式茶飲（新中国式ティードリンク）**は単なる「飲み物」市場ではなく、味、香り、健康、文化、社会交流に関わる消費全産業チェーンを盛り上げるトレンドとなっています。中国の伝統文化と若者の好みを結びつけ、食感やフレーバー、写真映え、栄養などを重視したものです。基本は茶葉をベースに、ミルクやフルーツ、ナッツ類、さらには穀物などを使って、カラフルかつオシャレで栄養価があり、様々な味わいのドリンクにしたもので、提供するティースタンドはチェーン店が多いです。2025年新中式茶飲の市場規模は5000億元になると言われるほど、お茶市場を代表する新勢力です。茶器やパッケージに伝統的スタイルを取入れ、他ブランドとのコラボにも力を入れ、またこうしたスタイルはインスタ映えするため、客が写真をSNSに投稿し、宣伝効果をもたらします。

ドリンクチェーン店の台頭

近年有名なのは、2012年に創業した「**喜茶（HEYTEA）**」です。チーズティーの生みの親といわれており、FENDIやバービーなど様々なブランドとコラボ商品を展開するなどして爆発的な人気を誇っています。お茶をベースにしたフルーツティーや、無脂肪・無糖などカロリーの低いヘルシーなドリンクも人気です。

2017年に雲南省昆明市で設立した**霸王茶姬（CHAGEE）**は、最近特に勢いのあるブランドで、お茶の味だけでなく、中国の伝統的な何とも美しいロゴやパッケージのデザインも人気です。霸王茶姬は世界最大のウーロン茶農園を所有し、使用している茶葉やミルクなどは厳密に管理されているため新鮮で安心安全、高品質なことが特徴です。タイやマレーシア、シンガポールなど海外進出にも積極的で、東洋のスターバックスを目指すとしています。

最近では、ティードリンクを作る「**調飲師**」という新しい職業も生まれました。「調飲師」になるためには、お茶に関する知識のほかに、栄養学、中医学に関する知識、食材・薬材に対する理解、そして味のセンスが求められます。



喜茶のフルーツティー



伝統文化風の濃い霸王茶姬



ナツメ茶 漢方をおしゃれに

人は人とつながる

中国の数学王 蘇歩青の足跡



浙江省温州市平陽の農家に生まれた蘇歩青（1902 年～2003 年）は、中国で微分幾何学の分野で優れた業績を残し、中国の数学王と知られています。1919 年に日本へ留学、東京高等工業学校（現在の東京科学大学）を卒業後、更に東北帝国大学（現在の東北大学）で数学を研鑽するため進学しました。

貧しかった幼少期

辛亥革命による清朝滅亡の 10 年ほど前、1902 年、蘇歩青は 13 番目の子どもとして生まれました。家は貧しく学校に通えず、幼少期 9 歳までは家畜の世話をしながら暮らしていました。私塾の授業を盗み聞く姿を見て、不憫に思った父親はお米を学費代わりにして、地元の平陽県第一小学、浙江省立第十中学に通わせました。清代の秀才で現代教育心理学の知識がある陳玉峰は、不真面目な蘇歩青を諭しました。このことが蘇歩青を覚醒する機会となり、浙江省立第十中学に首席合格、学費免除となります。そこで数学教師、楊霽朝との運命の出会いがあります。日本の東京大学に留学経験がある楊霽朝は、授業初日に言った「中国のこの遅れた状況を変えるには、まず科学技術を発展させなければならない。数学はその基礎、科学の基礎だ」この言葉が志の礎となり、蘇歩青を数学に向かわせることとなります。



温州市平陽県に残る旧居

優秀な成績で日本へ留学



魯迅が学んだ東北大学の階段教室（現存）
理学部数学科に進学しました。

蘇歩青の数学の才能はめきめきと頭角を現します。特に「三角形の外角はそれと隣り合わない 2 つの内角の和に等しい」ことの証明に 24 通りの方法をあみ出し、これが校長の洪彦遠の目を引きました。洪彦遠は蘇歩青に対し、中学卒業後日本留学を勧め、その言葉通り、日本に赴きました。1920 年東京高等工業学校電気科（現・東京科学大学）に首席合格で入学します。4 年後に卒業しましたが、数学を極めたいことから、文豪・魯迅が学んだ東北帝国大学（現・東北大学）の

発行所：静岡県日中友好協議会 発行人：増井浩二

静岡市葵区追手町 44-1（静岡県産経会館 1 階） TEL:054-255-8111

※「NEWS LETTER」は、当協議会 HP (<http://www.japanchina-shizuoka.jp/>) でも閲覧できます。